

マネージメント情報

2024年7月



この記事は、機関誌や日常の出来事の中からわれわれが注目した話題を皆様に提供するものです。
ご質問、ご要望などなんでもお寄せくだされば、今後テーマとして取り上げたいと思います。

ハエ対策本番ですね！！

阿部紀次

牛舎入り口や窓に設置して、ハエの成虫を侵入防止＆殺するタイプのネット
“ペルネット（全薬取り扱い）” について、追加の情報をご紹介します。

**サシバエがネットの下から侵入しないようにペルネットBK6の下端は地面に接する
ように設置してください。少し地面に垂れるように設置することをオススメします。**



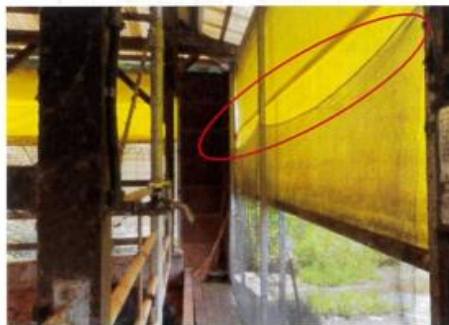
結束バンド

牛舎側面の柱に直接結束バンドで設置すると便利です。ネットの下に隙間ができないよう注意してください。



ハウスパッカー

ロールカーテンの揺れ止めパイプへの取り付けが簡単です。また、牛舎から少し離して丸管を地面に刺し、パッカーでネットを取り付ける方法もオススメです。



ネジ付フック、釘

ネジ付のフックですと柱などへの取り付けも簡便でネットも引っかけるだけで良いです。作業の際も簡便に外すことができますので、作業の邪魔になりにくいです。また、ワイヤーや紐などでカーテンのように設置することも可能です。

風の通りを考えて網戸よりも大きな網（6 x 6 mm）です。ハエの体が網に触れると、殺虫剤が付くために殺すことができます。

写真のように、隙間を見つけたらいろんな方法で貼ってみましょう。

★阿部の誤情報★

ペルネットの効果は6か月（ワンシーズン）です。『3年くらい持つんじゃないですか〜』は嘘です。お詫びして訂正します。すみません。

先日、越南の技能実習生さんに対して、「もう少し牛を大切に扱ってほしいなあ」とおっしゃる牧場に、このような手紙を作って渡してもらいました。効果^{てきめん}顔面とはいかなかったようですが、意志は通じたようです。最近の良い翻訳ソフトやアプリがあるので、その場でも会話できるかもしれませんが、間違っ^{まちが}て訳され、意図と違う言葉になっているおそれが予想されることから、今回は慎重を期してこのような手紙にしました。牧場名を伏せてご紹介します。 阿部

この手紙は、蹄の治療をしに来る獣医さんが、私たちのために企画し、私の気持ちをコンピューターの翻訳ソフトを用いて書いたものです。

うまく訳されているか分からないので、一応通訳者にも見てもらいました。

さん、 さんへ

あなた方は日本の生活や酪農業にも順応してきました。私たちの会社や家族を助けてくれて、とても感謝しています。とても助かっています。ありがとうございます。

私と妻は、あなた方がよりもっと牛に対して理解を深めてくれたら、さらに良い仕事が出来ると思っています。

具体的には、私たちは、子牛も母牛も高額で大切に育てています。だから私たちはすべての牛に対して愛情をもって接しています。我々の生活はすべて牛を中心にプログラムされています。だから、すべての牛に対して馬鹿にして笑ったり、粗末に扱ったりしないで欲しい。私たちは、あなた方が、牛を馬鹿扱いしたり、暴力的に扱ったりするとき、自分達の仕事や生活をけなされているように思えてしまい、悲しい気持ちになります。

牛は元々優しい動物です（しかし、希に本性をむき出しにする時もあるので、その時は立ち向かわずに逃げなければなりません・・・）。

とにかく牛を優しく扱ってください。牛を上から見下さないでください。失敗して困っている牛を笑わないで下さい。牛に大声を出さないでください。必要以上に力を入れて牛の乳首を拭かないでください。嫌がる牛を暴力で押さえつけないでください。まずは牛が嫌なことをしないでください。それから、自分たちの判断で牛の病気の治療をしないでください。気が付いたことは、まずに私か妻に報告、連絡、質問してください。

牛を優しく扱えば、牛は穏やかになり、より多くの質の良い牛乳を与えてくれるでしょう。

あなた方がよりよい技術を学んでくれることで、牛も私たち家族もあなた方も幸せになれるでしょう。

これらのことは酪農の基本であり、どこに行っても通用することです。

あなた方は立派な大人ですから、私たちの気持ち（酪農経営の本質）を理解してくれると思います。

私たちはあなた達を信用しています。

今後も毎日頑張っ^{がんば}って、健康で充実した酪農ライフをともに楽しみましょう。

〇〇牧場 社長 〇〇□□□

This letter was planned for us by the veterinarian who comes to treat our hooves, and was written using computer translation software to express my feelings. I wasn't sure if it was translated well, so I had an interpreter look at it.



To Mr. and Mr.

You have adapted to life in Japan and to dairy farming. We are very grateful for your help in helping our company and our family. It's very helpful. Thank you.

My wife and I think that if you could understand cows better, we could do a better job.

Specifically, we value both calves and mother cows, and they are expensive. That's why we treat all our cows with love. Our entire lives are programmed around cows. That's why we don't want you to make fun of us, laugh at us, or treat us poorly. When you treat cows like fools or treat them violently, we feel sad because it makes us feel like we are insulting our work and our lives.

Cows are naturally gentle animals (however, there are rare times when they show their true nature, and at those times we have to run away without confronting them...).

In any case, please treat cows kindly. Do not look down on cows. Do not laugh at cows who have made a mistake and are in trouble. Do not shout at cows. Do not wipe the cow's nipples with more force than necessary. Do not use violence to hold down cows that do not want to be touched. First of all, do not do anything that the cow does not like. Secondly, do not treat the cow's illness on your own judgment. If you notice anything, please report, contact, or ask me or my wife first. Treating cows gently will make them calmer and give you more and better quality milk.

By learning better techniques, the cows, our family, and you will all be happier.

These are the basics of dairy farming and will apply wherever you go.

You are all fine adults, so I believe you will understand our feelings (the essence of dairy farming management).

We trust you.

Let's continue to work hard every day and enjoy a healthy and fulfilling dairy life together.

Farm ○○

Bức thư này được viết cho chúng tôi bởi bác sĩ thú y đến chữa bệnh cho chúng tôi và ông ấy đã viết ra cảm xúc của tôi bằng phần mềm dịch thuật trên máy tính. Tôi không chắc liệu nó có được dịch tốt hay không nên tôi đã nhờ một người phiên dịch xem qua.



Thưa ông, thưa ông.

Bạn đã thích nghi với cuộc sống và chăn nuôi bò sữa của Nhật Bản. Cảm ơn bạn rất nhiều vì đã giúp đỡ công ty và gia đình chúng tôi. rất hữu ích. Cảm ơn.

Vợ tôi và tôi tin rằng nếu tất cả các bạn hiểu sâu hơn về loài bò, chúng tôi sẽ có thể làm việc tốt hơn.

Cụ thể, cả bê và bò mẹ đều quý giá và quan trọng đối với chúng ta. Đó là lý do tại sao chúng tôi đối xử với tất cả những con bò của mình bằng tình yêu thương. Toàn bộ cuộc sống của chúng ta được lập trình xung quanh những con bò. Vì vậy, xin đừng chế giễu tất cả những con bò hoặc đối xử tệ với chúng. Khi bạn thiếu tôn trọng những con bò hoặc đối xử thô bạo với chúng, chúng ta cảm thấy buồn vì cảm thấy công việc và cuộc sống của mình đang bị coi thường.

Bò là loài động vật bản chất tốt bụng (tuy nhiên, có những lúc chúng bộc lộ bản chất thật nên bạn phải bỏ chạy mà không đối đầu với chúng...).

Hãy đối xử tử tế với những con bò. Đừng coi thường con bò. Xin đừng cười nhạo những con bò thất bại và gặp rắc rối. Đừng la mắng những con bò. Không lau nóm vú của bò với lực mạnh hơn mức cần thiết. Xin đừng dùng vũ lực để kiểm chế một con bò bất đắc dĩ. Trước hết, đừng làm bất cứ điều gì mà con bò không thích. Ngoài ra, xin đừng dùng phán đoán của chính mình để chữa bệnh cho bò. Nếu bạn nhận thấy điều gì đó, vui lòng báo cáo, liên hệ hoặc hỏi tôi hoặc vợ tôi trước.

Nếu bạn đối xử tử tế với con bò của mình, nó sẽ bình tĩnh lại và cho bạn sữa chất lượng hơn.

Nếu bạn học được những kỹ thuật tốt hơn, những con bò, gia đình của chúng tôi và tất cả các bạn sẽ hạnh phúc.

Những điều này là những điều cơ bản của chăn nuôi bò sữa và có thể áp dụng cho dù bạn đi đâu.

Các bạn đều là những người trưởng thành tốt bụng nên tôi nghĩ các bạn sẽ hiểu cảm giác của chúng tôi (bản chất của việc quản lý trang trại bò sữa).

Chúng tôi tin tưởng bạn.

Chúng ta hãy tiếp tục làm việc chăm chỉ mỗi ngày và cùng nhau tận hưởng cuộc sống chăn nuôi bò sữa khỏe mạnh và trọn vẹn.

【イソジンは最強!! ではありません】

はじめに

皆さんこんにちは！最近一気に暑くなってきましたね。滝の様に汗を流しながら検診をしておりますが一向に痩せません。何故でしょう、、、毎日食べているアイスのせいではないことは確かですが、夏場に痩せない理由が思い当たらないので何かアドバイスを頂きたいと思う今日この頃です。

今回は消毒薬の取り扱いに関して、ちょっと気になる事例があったので注意喚起を含めて軽くコラムを書こうと思います。

身近にある消毒薬

畜産現場では実に多種多様な消毒薬があります。最も身近な消毒薬はやはり搾乳時に使うディッピングでしょうか。他にも踏み込み消毒槽や、牛舎に噴霧・散布する消毒薬など沢山ありますね！実は2019年5月号のM情報で別の獣医師が細かく説明してくれているので、お時間あるときにこちらも是非読んでみてください！

軽く消毒薬についてまとめるとページ右の様になります。

そして、これら消毒薬には下記の要因が影響します

- ・濃度
- ・温度
- ・有機物の有無
- ・PH

ここで特に注目したいのが、**有機物の有無**です。消毒の基本は**水洗7：消毒3**といわれるように、どんな消毒薬でも有機物（糞便や血液、埃など）が多い場合**効果を発揮できません**。

そして更に忘れてはならないのが、**消毒薬の中でも菌やウイルスは繁殖できる**ということです。

右ページの様消毒薬には得意不得意がありますが、これはあくまで上記の要因を排除した状態の作用です。有機物が多く存在する場合、消毒薬は効果を発揮できないどころか、**菌の温床になる可能性**が大いにあります

	一般細菌	ヨーネ菌	サルモネラ	芽胞菌	コクシジウム	真菌
逆性石鹼 (パコマ・アストップ等)	◎	×	◎	×	×	△
塩素系 (クレンテ・ビルコン等)	◎	◎	◎	◎	×	○
ヨード系 (イソジン・ヨーチン等)	◎	○	◎	○	×	○
アルデヒド系 (グルタクリン等)	◎	◎	◎	◎	×	◎
オルソ剤 (トライキル等)	◎	△	◎	×	◎	○
消石灰	◎	○	◎	△	○	○

◎：最適 ○：有効 △：一部有効 ×：無効



今回あった事例

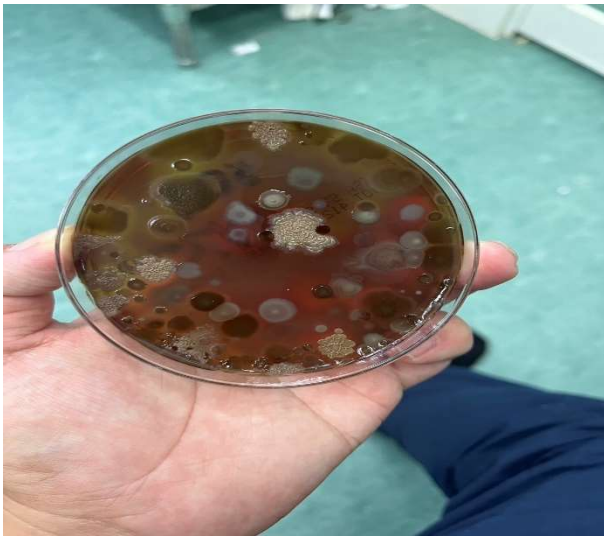
それでは具体的に、今回であった消毒薬の汚染事例を紹介します。



これはとある農家さんで子牛の臍消毒用に置いてあったディッピング容器です（中身はイソジン液）

この農場では時折臍帯炎が多発することがあり、分娩場所やその後の臍帯消毒などを見直すことがありました。最近もすこし臍帯が腫れる子牛が目立ってきている状況です。

ディッピング容器はひどく汚れているようには見えませんが、少しゴミが浮いていることと、中にイソジンが入ればなしになっている状態をよく見るので、少し気になって上のディップ部分に出ているイソジン液だけを掬って培養してみました。



なんと！かなりの量の菌がイソジン液中にいました。

誤解の無い様に先に言うておきますが、この農場で起こる臍帯炎すべてがこのディッピング容器によるものだと僕は思いません。理由としては、臍帯炎の原因は分娩環境など「分娩直後の状況」が大きなウェイトを占めているからです。

ただ、このディッピング容器+イソジン液の汚染が臍帯炎のいくつかある原因の一つ、もしくはすでに起こっている臍帯炎を悪化させる要因になっている可能性はあると思います。

搾乳時に使用するディッピング容器は、使用頻度も高く、多くの場合1日に1回以上は内容液補充のため軽く水洗いはする方が多いと思います。しかし臍帯消毒用のディッピング容器はたまにしか洗わないという方も多いのではないのでしょうか？

後日談ですが、この農場は農家さんも従業員さんも非常にフットワークが軽い方たちで、新しいルールやルーティンを即実施して下さるので、今後子牛の臍帯消毒にはディッピングを用いず、紙コップにイソジン液を入れ、都度使い捨てる形でやって頂くことにしました。

ディッピング容器で消毒するのもいいですが、あえて使い捨て容器を使用することで個人差や衛生概念の差がなくなるため、間違いなく清潔な消毒薬の取り扱いができると思います。

これから夏本番を迎えますが、サイレージだけでなく、あらゆる場所で菌が繁殖しやすい、まさに菌のゴールデンタイムが始まります。消毒薬は最強！とは思わずに、消毒薬を入れる容器・扱う人の手など「消毒薬が触れる場所の消毒」をイメージして頂くと夏の影響を少し緩和できるかもしれません！



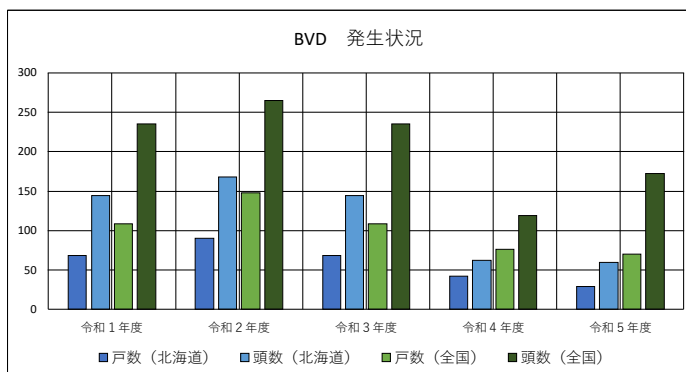
Total Herd Management Service

BVD とは？

みなさまこんにちは。望月です。

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社様主催の BVD ワクチン研修に参加させていただくための機内です

なので、復習がてら BVD に関して簡単に書かせていただこうかと思います。



年度	戸数 (北海道)	頭数 (北海道)	戸数 (全国)	頭数 (全国)
令和1年度	68	144	109	235
令和2年度	90	168	148	265
令和3年度	68	144	109	235
令和4年度	42	62	76	119
令和5年度	29	60	70	172

そもそも、牛ウイルス性下痢 (BVD) をご存じでしょうか？

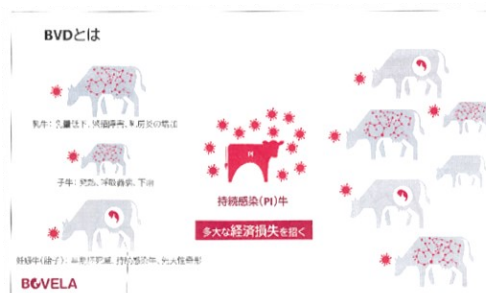
その名の通り、牛ウイルス性下痢ウイルスにより引き起こされる感染症で、日本では家畜伝染病予防法により、届出伝染病に分類されています。世界中で多数の発生があり、日本では1967年に初めて分離されたウイルスです。

令和に入ってから発生状況 (農水省統計資料) によると、減少傾向にはありますが、北海道での発生が過半数を占めている状況です。

症状は大きく分けると急性感染による症状 (TI) と持続感染 (PI) によるものに分類されます。

急性感染 (TI)

- ・一過性のウイルス感染
- ・子牛から成牛で呼吸器病、下痢、乳量低下、免疫抑制、重篤なものでは粘膜病等さまざまな病態を引き起こします。



ボベク勉強会スライドより

持続感染 (PI)

- ・妊娠牛が妊娠 30~120 日齢で感染すると、胎子が体内でウイルスの存在を許容する PI 牛となり
- ・PI 牛は生涯、大量のウイルスを排泄し続けます
- ・無症状の個体もおおいが、発育不良は下痢、呼吸器病を呈します

このように、一旦 PI 牛が農場に入り込むと大量のウイルスをまき散らし、TI 牛や次の PI 牛を生み出してしまう可能性があります。また、PI 牛は顕著な症状を示さない場合も多く、発見が遅くなり、次の PI 牛を生み出してしまう可能性もあります。

発見が難しいため、BVD の農場からの清浄化には移動や導入の際の検査やワクチネーションが重要になってきます。

次回は、研修で勉強してきた内容を書かせていただこうかと思います。

望月

【乳汁検査まとめ】

はじめに

2024年1月~6月において弊社にて実施した乳汁検査の結果をお伝えしたいと思います。

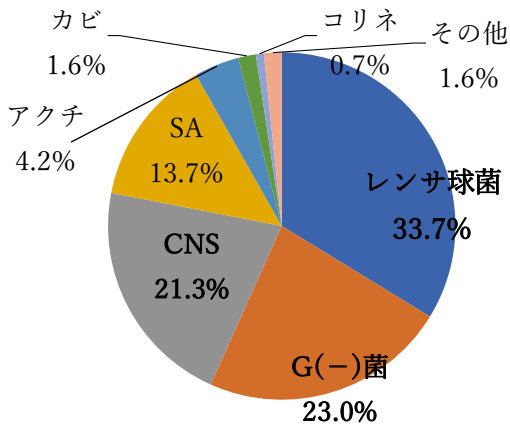
検査頭数は809頭、検査分房数は1614分房で、菌の生えた分房数は789分房、菌の検出されなかった分房数は825分房でした(それぞれ重複を含む)。

略語・薬品名対応表

略語	注射薬	軟膏
AM	アンピシリン	—
Cz	セファゾリン注	セファメジン・セファゾリン
K	カナマイシン	タイニーPK
ERFX	バイトリル 10%	—
ST	トリオプリン	—
T	OTC 注	OTC 軟膏

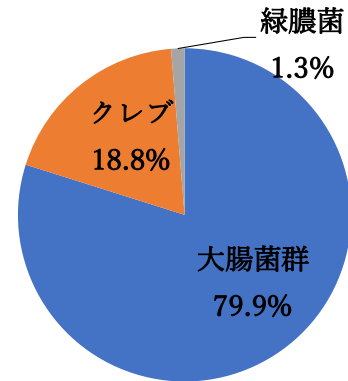
原因菌種割合

菌が検出された検体の中での雑菌を除く原因菌種割合を以下に示します。最多はレンサ球菌(※1)で、2番目に多かったのはG(-)菌(※2)でした。次いでCNS、SAと続きます。レンサ球菌、G(-)菌、CNS、SAで全体の約90%を占める結果となりました。



グラフ1 原因菌種割合

- ※1 レンサ球菌にはOS、ウベリス、エンテロコッカスを含む
- ※2 G(-)菌には大腸菌、その他の大腸菌群、クレブシエラ、緑膿菌を含む
- ※ アルカノバクテリウムをアクチ、コリネバクテリウムをコリネ、酵母様真菌をカビと表記



グラフ2 G(-)菌割合

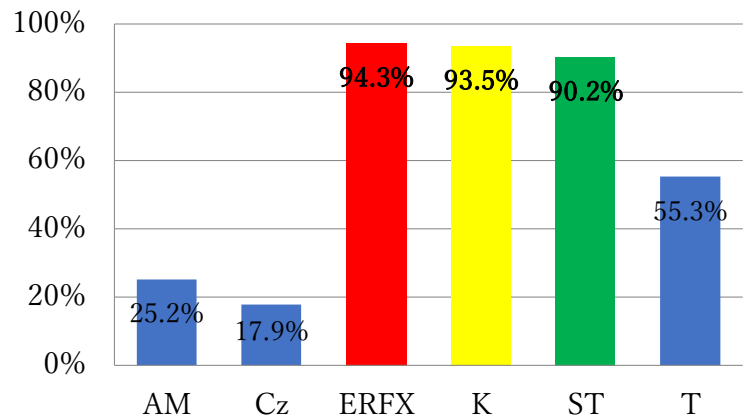
※大腸菌群は大腸菌、その他の大腸菌群を含む

※クレブシエラをクレブと表記

グラフ1にてG(-)菌としたものの内訳です。G(-)菌の発生分房数は154でした。大腸菌群が123分房で、割合は79.9%となり最多でした。クレブシエラは29分房で、割合は18.8%でした。緑膿菌は2分房で、割合は1.3%でした。

G(-)菌感受性割合

大腸菌群(154)



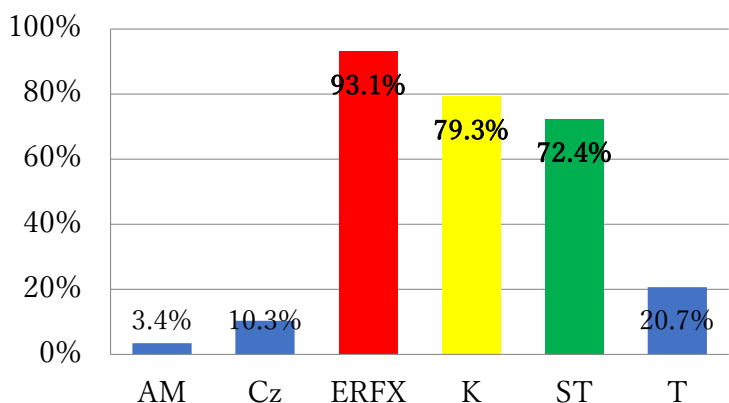
グラフ3 大腸菌群感受性割合



Total Herd Management Service

感受性割合の上位3つの薬品はERFX(バイトリル10%)、K(カナマイシン・タイニーPK)、ST(トリオプリン)で、どれも感受性割合は90%を超えています。T(OTC注、OTC軟膏)の感受性割合が昨年の66.9%より低下した55.3%でした。

クレブシエラ (29)



グラフ3 クレブシエラ感受性割合

感受性割合の上位3つの薬品は大腸菌群と同じERFX(バイトリル10%)、K(カナマイシン・タイニーPK)、ST(トリオプリン)です。大腸菌群と比較してERFX(バイトリル10%)は同程度、K(カナマイシン・タイニーPK)、ST(トリオプリン)は感受性割合が低い結果となりました。T(OTC注、OTC軟膏)は昨年の54.2%より下降して20.7%となり、依然低い感受性割合です。

緑膿菌は検出分房数2で、ERFX(バイトリル10%)、GM(ゲンタマイシン)がそれぞれ1ずつ感受性ありでした。サンプル数が少ないため参考程度にお考え下さい。

最後に

大腸菌群、クレブシエラどちらもERFX(バイトリル10%)、K(カナマイシン・タイニーPK)、ST(トリオプリン)の3薬品が高い感受性割合を示し、T(OTC注・軟膏)は大腸菌群では55.3%、クレブシエラでは20.7%で依然低い感受性割合を示しました。

大腸菌やクレブシエラを疑う乳房炎に対しては、臨床症状等でこの2菌種を区別することは難しく、検査してみないと判定できません。このことと、T(OTC注、OTC軟膏)の感受性割合を踏まえると、例年の結果同様、依然として最初の抗生剤選択において、T(OTC注、OTC軟膏)は選択しづらいと考えます。乳房炎において自家治療(軟膏治療)を行

う場合、G(-)菌の可能性を考慮してタイニーPKを使用する農場が多い様に感じます。大腸菌、クレブシエラ共に80%近くの感受性割合を示しています。タイニーPKは第一選択薬として以前問題ないと思われま

今年も熱い予報がなされています。これから益々乳房炎が増加する季節です。菌種、感受性薬剤をしっかり調べて、適切な治療を行いましょう。

来月はSAやOS等のG(+)菌の感受性割合を紹介いたします。

富田大祐



Total Herd Management Service

米国出張報告

要田大地

2024年5月にアメリカのウィスコンシン州マディソンにて開催されたVAS社のDairyComp305に関する2週間の講習に参加しました。以下に簡単にご報告いたします。

出張先

VAS社 (Madison URUS Office)

参加者

私

ドイツのVAS支社からの新人のサポート担当者

サマーインターンの学生 (1名)

講習内容

1. DairyCompの基礎から応用までの座学
DairyCompの基本操作と導入方法についての講義と実習
基本的なデータ入力、レポート作成、基本的な分析手法を習得
PlatformやPocket Cow Cardとの連携や農場のペーパーレス化について
オブシンプログラムや治療プロトコルの設定など、中～上級の内容
パーラーシステムとのデータ授受について
活動量計データのDairyCompへの情報の自動取り込みについて
2. 農場視察
2～3000頭規模のパーラー搾乳農場でPocket Cow Cardを活用したVet check (繁殖検診)の現場を見学

アメリカの農場ではDairyCompに農場で起きた出来事ほぼすべてが記録されており、その日の作業内容がシンプルに管理されている印象を受けました。特に、Pocket Cow Cardによる作業の効率化はとても素晴らしく、その日にワクチンを打つ牛や検診の対象牛などをエラーなく迅速に特定できていました。

EU加盟国では、農場で使用した抗生物質などの薬剤をすべて厳密に記録する必要があるとのことで (場合によっては当局への提出を求められることも)、DairyCompに紐

づけられている CowCare という機能でそれらを管理できるため、DairyComp を利用する農場が多いとのことでした。

全体を通して VAS 社のサポート担当職員は農場への理解が深く、農場に寄り添った対応をしていると感じました。

講習の成果

DairyComp の全機能を網羅した講習を受け、DairyComp でできることの範囲の広さを認識しました。VAS 社の担当者と直接コミュニケーションを取ることで技術的な疑問点を解消し、実践的なアドバイスを受けることができました。また、他の参加者と交流し、異なる視点からの意見や経験を共有することができました。特にドイツなどアメリカ以外の DairyComp の状況を知ることができ、大変貴重な機会でした。

今後の展望

学んだ内容をもとに、社内外での説明会を実施し、DairyComp の活用を促進したいと思うようになりました。

日本国内のユーザーがほとんど使用していないオブシークの設定やプロトコルの設定について、日本国内でどのように使用するのが良いかを検討し、使用方法を水平展開したいと考えています。

最終的には、日本の乳検等のデータを自動的に DairyComp に取り込めるような働きかけなどをしたいと思います。今後も継続的に VAS 社と連携し、新しい情報や技術の導入を積極的に行います。



URUS office
URUS 傘下の Ag Source 社と VAS 社の合同事務所が入っている



RFID リーダーで耳の EID を読み取っているところ。
妊鑑対象牛なら「Preg check」とスマホから音声が出る。

Pocket Cow Card

結果の入力も現その場で完了する。